

# 総務産業委員会報告書

平成26年6月23日

備前市議会議長 田 口 健 作 殿

委員長 田 原 隆 雄

平成26年6月23日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案 件	審査結果	少数意見
議案第60号 香登小学校校舎耐震補強工事の請負契約締結について	原案可決	なし
議案第61号 伊部小学校校舎耐震補強工事の請負契約締結について	原案可決	なし
議案第62号 日生西小学校校舎耐震補強工事の請負契約締結について	原案可決	なし
議案第63号 日生東小学校体育館及び校舎耐震化工事の請負契約締結について	原案可決	なし



《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第60号の審査	3
議案第61号の審査	4
議案第62号の審査	5
議案第63号の審査	8
閉会	9



## 総務産業委員会記録

招集日時	平成26年6月23日（月）	本会議休憩中		
開議・閉議	午前9時55分	開会 ～ 午前10時25分 閉会		
場所・形態	委員会室A・B	会期中（第3回定例会）の開催		
出席委員	委員長	田原隆雄	副委員長	川崎輝通
	委員	山本恒道		尾川直行
		掛谷 繁		西上徳一
		山本 成		
欠席委員	なし			
遅参委員	なし			
早退委員	なし			
列席者等	議長	田口健作		
傍聴者	議員	守井秀龍	星野和也	
	報道	山陽新聞		
	一般	なし		
説明員	まちづくり部長	高橋昌弘	まち計画課長	平田惣己治
審査記録	次のとおり			

## 午前9時55分 開会

○田原委員長 ただいまの出席は7名全員でございます。定足数に達しておりますので、これより総務産業委員会を開会いたします。

それでは、先ほど本会議で付託されました議案4件についての審査を行いたいと思います。

### \*\*\*\*\* 議案第60号の審査 \*\*\*\*\*

まず、議案第60号の審査を行いたいと思います。

質疑がありましたら、どうぞ。

○掛谷委員 私からは、地元の小学校という、今回は普通教室と特別教室棟をやるということで、ほかの小学校も関連しますが、これが今回承認された場合は夏休みに工事にかかってそれで終わってしまうのか、これは香登小学校だけですけれども、基本的な考え方と、この香登小学校の場合の工事期間というのはどれぐらいかかりますか。

○平田まち計画課長 工事の工期につきましては、4工事いずれも規模が違いますので、若干工期も変わってきております。まず、香登小学校であれば契約工期が10月15日でございます。伊部小学校が12月15日、日生西小学校が12月15日、それから日生東小学校につきましては2月28日という工期になっております。工事の規模が違うわけですから、当然それぞれ工期が違ってきているわけですが、工事の進め方につきまして、夏休みのことについての御質問ですが、当然夏休みの期間を有効活用するという考え方のもとに計画を立てていくつもりでおります。4工事いずれも仮設校舎をつくらないような予定にしておりますので、子供さんの授業に影響するような室内での工事、こういったものにつきまして集中的にもう夏休みにやってしまうと。その後外部の工事ですとか、できるだけ子供さんの授業に影響のない工事を夏休み以降に進めていくという流れのもとに進めていこうと考えております。

○尾川委員 契約だけに限定されたら質問の範囲が物すごく限定されてくるんですけど、要するにこの4つの学校の耐震に伴うて、いろんな今まで手入れをせずに放っといってきたということがあると思うんですよ。各学校によっていろんなばらつきがあって、雨漏りがあるとか、そういうことについて教育委員会の所管でないとなかなか難しいと。この契約について、どこまで学校の耐震化で前期の総務文教委員会で取り組んだのかというのはようわからんですけど、そのあたりは要するに耐震、それから内外装の改修、ほかもあるんですけど、どういう考え方で契約を締結しようとしているのかということをお聞きしたいです。

○平田まち計画課長 工事の内容ですが、昨年度まで教育委員会のほうでずっと計画を立ててきたことなので、その辺のいきさつというのは私のほうでも詳細はわかりませんが、ただ今回の工事、いずれもただ単に耐震化の対応のための工事というだけではございません。むしろ逆にリフォーム面の工事費が大きいぐらいになっておりまして、例えば屋上の防水シートのやりかえですとか、内外壁の塗装のやりかえといったような修繕的なもの。それから、トイレを和式のを洋式に全部やり替えると。また、普通教室を中心にエアコンの設備を設置するといったような、いわゆる大規模改造工事というものがむしろ金額的には主体になっております。耐震の改修

にあわせてそういうものもやっていくと、老朽化している部分があるので、この機にリフォームをあわせてやって快適な教育環境にしようという流れのもとにきていると聞いております。

**○尾川委員** そういうスタンスでやっていただきたいわけですが、契約内容がもう決まってくるわけですね。だから、この場に及んであれしてくれえ、これしてくれえと言っても遅いと思うんですよ、追加工事になるんじゃないから。その辺は今さらこの段階になったのでどうこう言うんじゃないんですけど、今後もまだ耐震化が進んでいくわけですから、防水シートとか内外壁の塗装とかということで、結構比率があるとお聞きしておるんですけど、そのあたりをよく対応を、耐震だけじゃなしに、課長のすばらしい言葉を聞いて、快適な教育環境を整備していくというもうすごい言葉を聞いて私も質問ができなくなったんですけど、契約はもうここまで来とんですから、今後担当が2つに分かれて、そのあたりを一番心配しよんですよ。教育委員会なのか、耐震でまち計画課になって、どっちが主導権を持つていくのかということがよくわからんので、そのあたりをよく解消して対応してほしいと。これから工事へ入っても学校との交渉がかなりあると思うんですよ。並行して授業をしながら進んでいくわけですから、そのあたりもよく調整しながら、その調整は教育委員会がやるのか、課長のほうがやるのか、そのあたりも明確にしてトラブルのないように、どうせ工事がおくれる可能性が高いと思うんですよ。そうしたときにいろんな問題が起こると思うので、十分配慮していただきたいと思いますが、それについて。

**○平田まち計画課長** 御指摘のとおり、この耐震化事業についての教育委員会と私のところの役割分担というのは今までも協議を重ねておりますし、ある程度明確にはしておるつもりでございます。いろんな点、老朽化による傷みなどで学校からいろいろ要望が出ていたり、この機にいろいろああいうところを直したほうがいい、こういうところをしたほうがいいといったような御意見も、昨年度まで教育委員会のほうでそうしたことについては御意見を聞きながら、調整をしながら今回の計画というのはでき上がってきているものだと思いますし、来年度につきましても、基本的には学校の施設ですから、計画を立てていくということにおいては教育委員会のほうが中心になってくるものというふうに考えております。ただ、やはり工事の技術的な部分でうちのほうが実務を受けているということでございますので、やはり今までのほともかく来年度分についてはうちと教育委員会と、やはりできるだけ同席の上で学校サイドとも協議をして調整していきたいというふうに思いますし、それから今回の工事を進めていく上での校内での学校への配慮とか調整といったようなことはむしろ逆に技術的なことになってきますから、私のところが中心になって協議をしていくべきかなというふうに考えております。

**○田原委員長** 確認しますが、入札と契約だけじゃなしに、管理面についても教育委員会と一緒にやってまち計画課でやるということですか。

**○平田まち計画課長** はい、そうですね。

**○山本（恒）委員** 尾川さんと同じような感じじゃけど、そりゃあ今まで学校、当局がここが悪いからこの機にこれとこれとというたりするんが、そりゃあくみ上げたもんは業者へは持っていかな、それはもちろん、その話は。

○平田まち計画課長 既にもうここで設計を起こして契約をしております、その設計内容、契約の内容の中に今御説明を申し上げましたような業務関係のものは全て含まれておりますから、当然今回の工事で業者にやっていただくということになっております。

○田原委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、議案第60号の質疑を終結してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより、議案第60号を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第60号は原案のとおり可決されました。

\*\*\*\*\* 議案第61号の審査 \*\*\*\*\*

それでは、引き続き議案第61号にの審査をいたしたいと思います。

質疑がありましたら、どうぞ。

○川崎副委員長 先ほどは地元中心に4社、今回の議案第61号に関しては共同企業体ということで3社に減っていますが、少し少ないようですけど、やはりもうこういう地元と企業体を組むとなれば、金額によってこういう限られた業者しか入札には資格的に参加できなくて、こういう件数が少ないのでしょうか、質問です。

○平田まち計画課長 今回の業者の参加資格につきましては、大体昨年度までの耐震化のものと同じような条件を踏襲しております。やはり基本的には市の工事の発注については市内業者優先というものが原則としてありますが、工事の規模が大きくなってくると、なかなかその市内業者の経営規模では単独参加が難しいということで、どうしても市外の手業者を交えて共同企業体を併用せざるを得なくなってきました。今回の場合、3億円という金額が一つの線引きになっておりました、設計金額で3億円を超えると、もう市内業者は最大手であっても単独で参加できないということになりますので、3億円を超える日生東、日生西小の2件につきましては、全てもう共同企業体だけの参加資格ということになっております。それから一方、3億円未満のものが2件、香登小学校と伊部小学校がそうですが、これらは市内業者の中で最上位ランクの業者で施工実績を持っているものであれば数社、該当社がございました。その市内業者の単独の可能な業者が単独参加できるものにあわせて、先ほどの3億円以上のものと同じような共同企業体での参加も可能ということで、これは併用するというような形をとっております。

当初、その参加資格を考えた段階で、我々なりに該当者がどの程度いるのかというのは確認を一応とっております、各工事で大体10組から15組ぐらいは参加者がいるというふうに踏んでいたんですけど、ふたをあけてみれば1工事2社から4社ということで非常に少なくなりましたという傾向になっているんですけど。この辺の要因といいますのは、業者側の事情により



ますので、なかなかこれも推察になるんですけども、他の自治体でも今非常に建設業界売り手市場という中で入札に参加者がいなかったり、あっても非常に高どまりで不調になったりというような状況が出てきております。これもやはり政府の景気対策ですとか、あるいは地震への対応といったようなことで大型事業がどんどん出ている状況の中で、私らも市内業者に聞いてみますと、やはりかなり手持ち工事を持っていて、なかなか手が回らないといった状況の中で、なかなか参加がしづらいというか、そういったことでどうしても参加業者数が少なくなってしまったものではないかというふうに推察はしております。

ただ、少ないと言いながらも、落札率を見れば4件中3件が86%台、もう一件につきましても2社が最低制限価格をくぐって失格になってしまった関係で90%ちょっとになっているんですけども、そういう内容から見れば、少ないながらもそれなりに適正に競争が行われたのではないかなというふうには考えております。

**○田原委員長** ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段ないようですので、質疑を終結させていただきます。

これより議案第61号を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに異議がございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第61号は原案のとおり可決されました。

\*\*\*\*\* 議案第62号の審査 \*\*\*\*\*

引き続き、議案第62号の審査を始めます。

質疑がありましたら、どうぞ。

**○山本（恒）委員** これ業者は共同体で出とんかな。4つのうち太陽と茂山組が2つとつとるが、せえらじゃったら、向こうの業者の話じゃけど、1個ずつっていうような感じになつとんかな。単独でとつたと同じような感じになるんじゃねえん。

**○平田まち計画課長** これ4件の工事が全てそれぞれ独立したものでございますから、それぞれで技術者を含めてちゃんと独立で工事の体制というのをとっていただく必要がございますし、そうできるということで各業者、複数の案件に参加をしてくれていると思います。ですから、太陽建設につきましてもここで2工事をとっているわけですけども、当然それぞれの体制ということで別の技術者を専任で配置をしますし、それぞれの工事の管理体制というものをつくってちゃんとやってくれるだろうというふうには考えております。

**○山本（恒）委員** うちらでおとしじゃったか、5つほど工事をとつとんですね。へえで、従業員が5人ほどしかおらんのに、92歳のおじいさんも資格を持つとるからここへ行くんじやというたりするような、そねえなのはきっちり数がおらんたら絶対見るんじやわな、帳面か何かわからんけど。

**○平田まち計画課長** 建設業法に基づいて業者が工事を進めていくことになるわけで、規模の小

さなものであれば1人の技術者が幾つかかけ持ちでということも可能ですけども、今回発注しているような大きな工事になりますと、それぞれもう技術者専任ということになります。その工事だけの技術者が専属で配置をされて管理をつかさどっていく、そうした法律にのっとって進められるということになりますから、適正に執行できないような体制のところはもともと工事にも参加できませんし、当然落札もできないという仕組みになっております。

○田原委員長 ほかにございませんか。

なければ、ちょっと委員としての発言があるので、副委員長と交代します。

[委員長交代]

○川崎副委員長 それじゃあ、かわります。

○田原委員長 先ほど説明もありましたが、今回失格が2件出ております。今業界は結構入札しても高どまりの中で不調が多いということの中で、なぜこういう失格が出たのか、市民感情としてはもうちょっと安くという疑問が当然湧くわけですが、わかりやすい説明をお願いします。

○平田まち計画課長 御指摘のとおり状況ではありますが、業者が安くたたかずに高どまりで不調になるとか、あるいは逆に安くし過ぎてくぐってしまう、これはもうその時々業者の受注意欲といいますか、そのときの事情にもよるので、なかなかこちらでどうこう言えない部分がございます。今回、この日生西小で2社が失格をしたものにつきましては、最低制限価格を下回ったということですが、これはどちらかと言いますと今の制度上の問題もございまして、今現在備前市では最低制限価格をくじでもって85%から86.5%の間の1.5%の間にランダムに決定するようになっております。今工事入札全て電子入札になっておりますが、この電子システムを使ってその1.5%の間でランダムに最低制限価格が設定をされるというやり方になっておりますから、例えば85%を下回るというのは、もうこれは即失格ということになります。業者がぎりぎりのところで何とかとりたいと考えて、例えばの話、85.5%の札を入れたとしても、くじで85.6%が出てしまうと失格になってしまうという、そうしたことの結果のあらわれということかと思えます。

[委員長交代]

○田原委員長 それでは、委員長に復帰しました。

○川崎副委員長 私も水道工事などでは相当議会でも質問したんですけど、ランクはよくわかりませんが、何千万円の単位ならそういうくじ引きで最低価格を決めるという方法もいいんだろうけど、このように1億円、2億円を超えますと1%でも結構大きな金額の違いになりますので、やはりこういうある金額以上は85%から86.5%ですか、そういった線より低い、決めた金額に近い人が今までの指名競争入札ですか、一般競争入札というんですか、そういう最低価格に近い人が落札するという方式に柔軟に切りかえるということではできないのでしょうか。

○平田まち計画課長 こうした入札制度のことになってきますと、なかなか我々発注原課のほうではっきりしたことが申し上げられなくなってしまうんですが、基本的には副市長を長とする指名委員会で審議をして決められるということになりますので、御意見としては承っておきたいと思

います。ただ、川崎副委員長が言われるのは本当にごもっともなことで、そうできるものであればできるだけそうしたいというのが正直なところではないかと思います。そのあたりが入札制度の非常に難しいところでございまして、最近でも総社市で職員が予定価格を漏らしたということで大きな問題になっておりますが、どうしてもそうした事例があちらこちらで出てきます。備前市では具体的にそういうことが起こったというのは記憶にはございませんが、可能性がやはりあるわけでございまして、例えば最低制限価格というものを事前にきちっと決めておいたとしますと、万が一それが職員から業者に漏れますと、その情報をつかんだ業者が最低制限価格と同額の札を入れてくれば、これはもうほぼ100%近い確率で落札ができてしまいます。そういったことで、入札の公平性が保てないということが起こり得るということがありますので、そのためにわざわざくじを取り入れて偶然性を入札の中に取り入れて、そうした公平性を確保しようというふうにしているものだというふうに思います。

**○川崎副委員長** 事情はよくわかります。こういうくじ引きにした経過から見てそのとおりだと思います。ただ、少し視点は違いますけれども、所管は文教になると思いますが、やはり耐震化しているところを優先でエアコンなどをつけるということを考えますと、随時やっていくということですが、これを見ると、この中村建設と星尾組の共同企業体、2億3,800万円だったら落札者と4,000万円も違いが出てくるので、もしこれで落ちていけば、4,000万円あれば耐震化していない全教室を最優先でエアコンをこの暑い夏を乗り切るためにできたんじゃないかなあと、ふとそういうことが浮かびましたので、やはり慎重に経費削減で特に学校、教育関係は子供たちに本当にしっかり予算をつけてあげたいというか、いろんな整備を充実させたいということからいえば、こういうことで本当に一瞬のうちにそういうものができるかできないか決まるというのは、ある意味では残酷な世界というか、せつかく入札関係を特に建物はまちづくり部が所管してやるということになれば、やはり今後慎重にどうあるべきか全国の先進例を学びながら、より最低価格に近いところで公共事業をやっていたら、もう時代は変わって何年前前は最低価格70%前後だったと思うけど、今はもう85%という15%も上がれば、やはり相当時代の流れとしては業者も余裕ができたんじゃないかなあとと思うので、入札については今後とも億単位以上のものについては検討していただきたいということを要望しておきます。

**○平田まち計画課長** 御意見としてしっかり承っておきたいと思いますが、こうした問題提起があったということで、指名委員会のほうにも報告はさせていただきたいと思います。入札制度は非常に難しいものでございまして、もうこれが正しいんだという形がなかなかないという、そのときの状況に応じて試行錯誤の繰り返しというようなことで来ておりますから、今後もじゃあ今の制度がそのままかと言えば、そういうことでもないかと思います。そのあたりはしっかりいろんな状況も踏まえて検討していきたいと思います。

**○田原委員長** ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

打ち切りましてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、打ち切りまして、これより議案第62号の採決をいたします。

本案は原案のとおり可決することに異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第62号は原案のとおり可決されました。

\*\*\*\*\* 議案第63号の審査 \*\*\*\*\*

それでは、最後に議案第63号の審査に入ります。

質疑がありましたら、どうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段ないようですので、質疑を打ち切りたいと思います。

それでは、これより議案第63号を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第63号は原案のとおり可決されました。

**○尾川委員** いつも追加議案という形で出てくるわけですよ。これは入札が6月3日ですか、それから日にちがかなりたつとるわけですよ。最終日に追加議案という形でなく、委員会をきょう開かんという意味じゃないんですよ、やはり慎重に審議せんと総社市みたいになっても困るし、やはりできる限り所定の手続で追加議案という形でなくてしっかりした形で、追加議案でも途中で出してもらおうとかという形にはできないものですか。

**○平田まち計画課長** 御指摘のとおりで、私どももできるだけ早く出せばということで考えてスケジュールは組んだんですが、やはり精いっぱいスケジュールを組んでも今回のようにいっぱいいっぱいになってしまったというような状況でございます。6月3日に入札は確かにしたんですけども、実際にあと業者の審査をして落札決定がなされたのがそれぞれ4日か5日ということで、それから契約の締結に2週間ほど時間がかかります。仮契約の締結ができて、一番遅いものですと、たしか17日付になっていたものがあると思いますので、それから仮契約の締結ができて議案を出させていただくとすると、どうしても今回のようなぎりぎりの日程になってしまったと。それから、入札へ至る過程におきましても、この4月、年度が変わってからすぐ発注の準備をして指名委員会にも諮り、設計者の起案を上げて決裁もいただきというようなことで準備を進めてきたんですけども、今回これがもう本当にいっぱいいっぱい日程だったということで、本当に無理やり最終日に追加議案で出させていただくのがいいのか、もうそんな無理をするのであれば臨時議会をお願いしたほうがいいのか、そのあたりは今後の課題ということで、また検討させていただきたいと思います。

**○田原委員長** それこそ議運でぽんと出て、議運のメンバーでない者は議場へ入ったらいきなりこれがあるんですよ。形式的には淡々とやつとるわけですけど、本当にちょっと恥ずかしいというふうに正直思いますので、質疑のときに追加議案を出してもらおうとか、いろいろ工夫をして

いただきたいという要望を委員長のほうからもしておきます。

○山本（恒）委員 今まで私も10年ほどおるけど、大体最終日に全部そろってきますが。もうそりゃあ簡単で時間がねえし、早うせにゃあ昼までに済まんしというたりしようたら、執行部サイドはそれが一番文句を言われんでええと思いますけど、できるだけきのうでもおとついでもというような、何か考える時間が、9時15分に来て9時半にこんなもんを見てから10億円というたりしたら、そりゃあ担当は簡単でええけど、そこら回りをある程度市民サイドへも何ぼか立って考えてもらうんがええと思いますけど。

○平田まち計画課長 申しわけございません。決して審議を十分にしないものを簡単に通したいかといったような気持ちを持っているつもりではないですけども、今後そういう点はよく気をつけてスケジュールを考えていきたいと思います。

○田原委員長 以上で本委員会に付託されました議案の審査は全て終了しました。

以上で総務産業委員会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時25分 閉会